

○福島大学農林サークル福桃 森林土壌生態系から考える持続的な森林管理



活動目的

人間社会に重要な生態系サービスを提供する森林土壌の特性と生態系を学び、その知見から森林の適切な管理について考える。

活動内容

- 土壌生態学オンライン講義
- 土壌生物調査
- 郡山市における森林整備と作業道横断溝制作

【土壌生物調査・土壌生態学オンライン講義】

9月16日、9月17日に福島大学栴沢圃場及び周辺森林で金子信博 福島大学名誉教授の指導のもと、土壌生物調査を行いました。人工的な攪乱が大きい畑の土壌よりも森林の土壌の方が生物量が多く、森林の生物多様性が大きいことを実感しながら学びました。

また、7月～3月にかけてオンライン講義を受け、地球規模での物質循環から土壌の非常に小さい生物までのことを学び、生態学的な考え方から現在の農林産業の課題、そして将来の農林産業がどのように土地利用をしていくかを考えることができました。



採取したジムカデ



森林でのサンプル採取



トビムシを採取する装置



ハンドソーティング中

【郡山市における森林整備と作業道横断溝制作】

郡山市の造り酒屋・仁井田本家さまの森林にお邪魔し、森林整備と作業道に横断溝を作るお手伝いをさせていただきました。森林整備ではスギの伐採の見学と運搬を行い、森林管理を身をもって体験できたと思っています。



スギの伐採



枝のうち払い

「作業道横断溝とは？」
 森林の横断溝は、林道や作業道、斜面に設けられる排水施設で、雨水や融雪水が一方向に集中して流れるのを防ぐ役割をもつ。水を受け止めて分散・排水することで、路面や斜面の侵食、土砂流出、濁水の発生を抑え、森林や林道の安定を保つ。今回は、伐採したスギをそのまま利用した。設置間隔や構造は地形や降雨条件に応じて決められ、効果を維持するためには定期的な点検・清掃が重要である。

作成中

完成！